

GIGA スクール構想推進計画
～GIGA 端末更新の共同調達に係る各種計画～

令和 6 年 10 月
野沢温泉村教育委員会

目次

1. 端末整備・更新計画
2. ネットワーク整備計画
3. 校務D X計画
4. 1人1台端末の利活用に係る計画

【野沢温泉村】 端末整備・更新計画

2024年10月

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
① 児童生徒数 (人)	198	207	205	207	199
② 予備機を含む 整備上限台数 (台)	227	11	8	11	1
③ 整備台数 (予備機除く) (台)	198	0	0	0	0
④ ③のうち 基金事業によるもの	198	0	0	0	0
⑤ 累積更新率	100%	96%	97%	96%	99%
⑥ 予備機整備台数	29	0	0	0	0
⑦ ⑥のうち 基金事業によるもの	29	0	0	0	0
⑧ 予備機整備率	15%	0%	0%	0%	0%
端末の整備・更新の考え方	・令和2年度に整備した198台について令和6年度に更新を行う。 ・児童生徒数の増減が見込まれるが、予備機を利用しながら随時計画を見直し適切な更新をする。 ・使用期間が5年に満たないが端末の劣化と4年契約(4年パッケージ)の保守期間が終了するため更新を行う。				
更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について	○対象台数:198台 ○処分方法 ・使用済端末を公共施設や福祉施設など地域で再利用 :20台 ・小型家電リサイクル法の認定事業者にて再使用、再資源化を委託 :178台 ・資源有効利用促進法の製造事業者にて再使用・再資源化を委託 :0台 ・その他 :0台 ○端末のデータの消去方法 ・処分事業者へ委託する ○スケジュール(予定) ・令和7年4月 新規購入端末の使用開始 ・令和7年4月 使用済み端末の再利用開始 ○その他特記事項 ・なし				
「⑤累積更新率」が令和 10年度までに100%に達しない場合は、その理由					

【野沢温泉村】 ネットワーク整 2024年10月

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①十分なネットワーク速度が確保できている学校の割合(%)	100	100	100	100	100
②簡易アセスメントの実施計画	8月 村内小中学校全2校の簡易アセスメントの実施	4月と10月 村内小中学校全2校の簡易アセスメントの実施	4月と10月 村内小中学校全2校の簡易アセスメントの実施	4月と10月 村内小中学校全2校の簡易アセスメントの実施	4月と10月 村内小中学校全2校の簡易アセスメントの実施
③アセスメントの実施計画		10月以降 簡易アセスメントの結果により、アセスメントの実施を予定	10月以降 簡易アセスメントの結果により、アセスメントの実施を予定	10月以降 簡易アセスメントの結果により、アセスメントの実施を予定	10月以降 簡易アセスメントの結果により、アセスメントの実施を予定
簡易アセスメントによって課題が明らかとなった場合の対策	・簡易アセスメントによる測定平均が小学校(児童数140人)で368Mbps、中学校(生徒数:58人)で166Mbpsであることから文科省の推奨帯域を満たしている。今後も年に複数回の定期的な簡易アセスメントを実施し、通信速度の数値及び体感調査の結果に不足が生じれば、アセスメントを実施し課題を特定する。				
アセスメントによって課題が明らかとなった場合の対策	・課題が明らかとなった場合は、補正にて予算を確保したうえで課題について令和8年度までに改善する。				
アセスメントを実施しない例外的な事情(ある場合)					

【野沢温泉村】校務DX計画

2024年10月

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	50%	100%			
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	50%				100%
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	100%				
選択項目	18.職員会議等をハイブリッド(対面・オンライン)で実施している学校の割合		100%			
	20.校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしている学校の割合			100%		
	29.教員は校務用の個人メールアドレスが付与されている学校の割合			100%		
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題と解決策	選択項目「18」について、校外の会議(他学校や教育委員会等)を可能な限りオンラインで出来るようにし、会議場所への移動時間等の節約をしたい。必要な設備や技術は整えているためオンラインでの会議の有効性や必要性を理解し推進していくことで解決を図る。				
		選択項目「20」について、クラウドを利用した共同編集機能を校務に活用したい。現状は、慣れていない職員が多いため、研修等を行い積極的に利用を促していくことを解決策としたい。				
		選択項目「29」について、現在付与させているGoogleアカウントを外部とのやり取りに使えると、個人の携帯端末でも管理でき効率化につながる。課題は情報セキュリティだが、職員研修等で徹底し解決策としたい。				
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	・保護者連絡アプリや統合型校務支援システムを導入しデジタル化により「働き方改革を推進」しているが、今後は更に次世代の校務支援システムへの移行も検討する。 ・教育情報セキュリティポリシーの策定を令和6年度中に行い学校・教職員へ周知。				

【野沢温泉村】 1人1台端末の利活用に係る計画

2024年10月

項目	内容
①1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿	野沢温泉村では、「個別最適で協働的な学び」が出来るようにこれまで様々なデジタルドリル教材や協働学習支援ツールを利用してきた。今後も児童生徒が自ら進んで「個別最適で協働的であり主体的な学び」が出来るように進めていく。
②GIGA第1期の総括	令和2年度にGIGA端末及び通信ネットワークを整備し、現在まで大きなトラブルもなく利用している。しかし、今後は更なる端末の活用拡大も踏まえ、定期的な簡易ネットワークアセスメントの実施を行い環境の維持を図ることの重要性を感じている。
③1人1台端末の利活用方策	【1人1台端末の活用】 端末や通信ネットワークの整備や維持について体制をこれからも図っていき、「個別最適で協働的な学び」が出来るよう推進していく。また、毎年、小中学生及びその保護者を対象に情報リテラシー、ネットリテラシーの講演会を開いている。トラブルに巻き込まれてしまう危険性が課題でもある中、セキュリティ強化をしながらも児童生徒1人々が情報を適切に収集・取捨選択・発信する能力やトラブルを回避できる力を身につけられるように進めていく。 【個別最適・協働的な学びの一体的な充実】 GIGA端末の活用を始めた当初より、「個別最適・協働的な学び」が出来るようにさまざまなデジタルドリル教材や協働学習支援ツールを利用してきた。今後も児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持することが重要であると考える。 【学びの保障(臨時休業等の緊急時・不登校対策・特別支援教育・外国人児童生徒)】 学校の臨時休業や不登校対策として、端末を持ち帰り学習が途切れないようにしている。また、デジタル教科書を利用し特別支援教育及び外国人児童生徒の学びにこれからも活用していく。